

令和7年度

東京都ひきこもりに係る民生委員・児童委員向け研修 集合型研修

ひきこもり当事者家族の心情理解と対応

ひきこもりの状態にある本人・家族が孤立しがちな構造、家族と信頼関係を築くことの重要性を理解し、どのような支援や関係づくりを行えばよいかを学ぶ研修を実施します。



対象者

都内で活動する民生委員・児童委員、主任児童委員の方
このような方はぜひお申込みください。

- ▶ 現にひきこもり当事者や家族を支援している方
- ▶ 今後、ひきこもり支援をする場合に備えて学習したい方

※他の地域の民生委員さんと交流する機会にもなります。

受講料

無料

対面開催

日時▶ 令和8年1月23日(金) 午後1時30分～午後4時30分

講師▶ 東京学芸大学 教育心理学講座 教授 福井 里江 氏

会場▶ 公益財団法人東京都福祉保健財団 多目的室

内容(予定)▶ ● (講義) 地域で孤立感を感じている家族の心情理解

● (演習) 家族の心情に寄り添った声かけ

※内容は変更になることがあります。

受講者数▶ 60人程度

実施方法▶ 対面形式の集合型研修

申込方法▶ 活動地域の区市町村担当者を通じてお申し込みください。
定員を超過して申込みがあった際は、受講いただけない場合があります。



福井 里江 氏

▼事前に動画「ひきこもり概論」「家族支援」「東京都の支援体制」を必ず視聴してご参加ください。

動画視聴ページはこちら (視聴パスワードは区市町村から案内をご確認ください)

主催: 東京都

本事業は東京都から(公財)東京都福祉保健財団が受託しています。

東京学芸大学 教育心理学講座 教授 ふくい さとえ 福井 里江 氏

日本学術振興会科学技術特別研究員、東京学芸大学教育心理学講座准教授を経て2024年より現職。

臨床心理士、公認心理師。東京都ひきこもりに係る支援協議会委員等を歴任。

ひきこもりをめぐる家族支援の実践やスーパーバイズに長年取り組み、国や自治体におけるひきこもり支援関連の委員会、講演会、研修会に多数関わっている。

専門分野は臨床心理学。

受講者の声（令和6年度アンケートより）

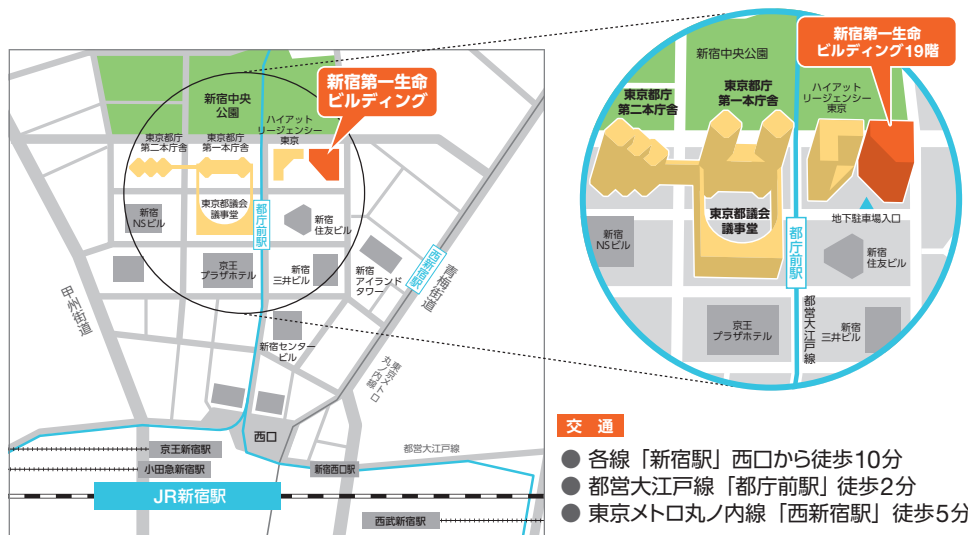
- グループで話し合い、発表することによって、様々な意見が聞けたり、自分では思いつかなかったことを発見できました。
- 色々と違った視点から考えることができ、とても勉強になりました。光の当て方により、物の見え方が全く異なることが新鮮でした。

申込にあたって

- 本研修は令和6年度と同様の内容で実施する予定です。
- 申込時にご登録いただいた個人情報については、当財団個人情報の保護に関する要綱に基づき適正管理を行い、本研修業務以外の目的で利用することはありません。

研修会場のご案内

公益財団法人
東京都福祉保健財団
多目的室
新宿区西新宿2-7-1
新宿第一生命ビルディング19階



問合せ先

 **公益財団法人 東京都福祉保健財団**

人材養成部福祉人材養成室 ひきこもり支援研修担当

〒163-0719 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビルディング19階

TEL 03-6302-0319 e-mail: hikikomori@fukushizaidan.jp

URL: <https://www.fukushizaidan.jp/124hikikomori/>



東京都福祉保健財団
ひきこもり